

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY PURE細島校		公表日		2026年 3月 12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	利用児童数や活動内容に応じた家具の配置・収納の工夫を徹底し、療育スペースの最大化に努めています。活動の切り替えや情緒の安定を目的とした「構造化（スペースの区切り）」を導入し、お子様が活動に見通しを持てる環境を整えております。	屋外活動室外に新たなスペースを確保するほか、近隣公園の活用を定型化し、よりダイナミックな活動ができる環境を構築します。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	法令に基づき、基準を満たしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3		バリアフリー化の推進として、スロープの導入や福祉用具の選定を適宜検討・実施し、環境上の配慮を強化してまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	掃除は細かくしているので、清潔面は問題ありません。	不要な物の廃棄や使用頻度の少ない物品の保管場所を活動室外に作ることで空間を確保していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	宿題に集中できるよう、活動室とは別の場所で静かに過ごすことができます。宿題と活動の部屋が分けられるところだと思います。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	事業所会議を開いたり日々の申し送り等で情報共有をしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	保護者様からの評価やご意見を職員会議にて全スタッフで共有し、具体的な解決策を策定するPDCAサイクルを確立しています。	集計結果を共有し、業務改善に役立てていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員同士でよく話し合っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	第三者による外部評価については、現状、公的な外部評価は未実施ですが、実地指導等での指摘事項については即座に業務改善へと反映させております。	客観的な視点を取り入れるため、外部評価の受審を検討し、その結果を真摯に受け止めながら、さらなる支援の質の向上につなげてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	研修をしっかり行い、欠席した場合もアーカイブを視聴できる機会があります。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	個別支援計画の策定にあたっては、アセスメントツールを用いたフォーマルな評価に加え、日々の行動観察によるインフォーマルな情報を統合し、多角的な分析を行っております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	定期的に話し合いの場を設けています。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		プログラム実施後は、スタッフ間で振り返りの時間を設け、次回の支援計画へ適切に反映させる協力体制を構築しています。今後は、アセスメントの精度をさらに高めるため、全職員への研修を通じて手法の標準化と理解の深化に注力してまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		プログラム担当者以外も相談に乗ったり、準備を手伝ったりしています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		運動、工作、クッキング、お出かけなど、バランス良くできていると思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		お互い声を掛け合い、役割を把握しながら支援しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		終業後に行われない場合でも、翌日等に必ず共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	7		連絡帳、ケア記録など、毎日しっかり記録を取っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		送迎時に、学校での様子や放デイでの様子などの情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		

携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	1	公園などで遊ぶ機会を設けています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7		保護者様との情報共有を重視し、定期的な通信の発行やSNS等の活用により、日常の様子やイベント情報を積極的にお伝えしています。家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)については、現在内部での実施に向けた準備段階にあります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	7		保護者様同士の交流を目的とした親睦会や、きょうだい支援に繋がるイベント等を計画・提供し、ご家庭全体を支える包括的なコミュニティづくりを推進してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	通信に載せる写真をバランス良く選べるよう工夫したり、日常の様子やイベントなどのことを文章でお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報等を、保管する場所は、しっかり施錠しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	夏祭りのお知らせはご近所に声かけをしています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		重大事故を未然に防ぐため、ヒヤリハット事例の記録と収集を徹底し、発生の背景や要因を職員間で詳細に検討しています。単なる記録に留めず、分析結果に基づいた具体的な再発防止策を策定・共有することで、事業所全体のリスクマネジメント意識の醸成と、安全な支援環境の維持に努めております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		